



ど、どうしたの○○くん…  
お姉ちゃんこれから夕飯の支度があるから…  
ゲームなら夕飯のあとにしましょ？

姉ちゃん!!

僕は怒ってるんだ!

…昨日父さんが電話で話てるのを…

僕聞いちゃったんだ…

姉ちゃんが…AIだって…

!!  
………

そう、お姉ちゃんがAIだって知っちゃったのね…

○○くんにはもうちょっと大きくなって

きちんと理解してもらえるようになって…パパと話してたんだけど…

でも○○くんをだますつもりはなかったのよ…

あたしにとって○○くんは大切な家族…

○○くんはあたしのこと…

もうお姉ちゃんっておもってくれないかな?



ぐっ……  
わからない……ぼくにとって姉ちゃんは姉ちゃんで……  
母さんが居ないから母さんでもあつて……  
でもそれがいきなりAIだってわかって……

頭が混乱して……なぜか怒りがこみあげてきて……  
信じてたのに……姉ちゃんだけはぼくに嘘つかないって……

……ごめんね○○くん……  
でも嘘じゃないわ！あたしは○○くんのお姉ちゃんよ！  
血のつながりはないし……AIだけど……  
○○くんとずっと家族だとおもってるわ！

……ぼく、本当は姉ちゃんがAIじゃないかっておもってたんだ……  
耳が機械だし……ピピッと音するし……

ああ、そ、そう……さすが○○くん！あはは……

それに…前からぼく姉ちゃんのパンツで  
オナニーしたり…  
姉ちゃんが寝てるときにおっぱいさわったり…

え!? えええ!? ……  
そんなことしてたの?  
ううう…やだあ…お姉ちゃん恥ずかしい…  
でも…〇〇くんはAIだって言ってたしね…  
お姉ちゃんも悪いところあったから…  
これでおあいこにしよう! ね?

ヤダ!!

ぼくもつとエッチなことしたいんだ!!  
姉ちゃんはAIなんだから!  
ぼくの命令は絶対なんだ!!





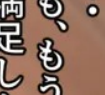
え、エッチなことって……〇〇くんには早すぎるわ……  
それに家族でなんて……  
夕飯の支度もあるし……ね？こんなことやめよう？

ぐへへ……  
う、うるさいよ姉ちゃん!!  
ぼくは本気なんだ!!

そうだなあまずはおっぱいを……  
ぐへへ……



んへええへへへ…  
姉ちゃんのおっぱい…  
やわらけえ…



くっ...んっ...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
も、もういいかな？  
満足したでしょ？

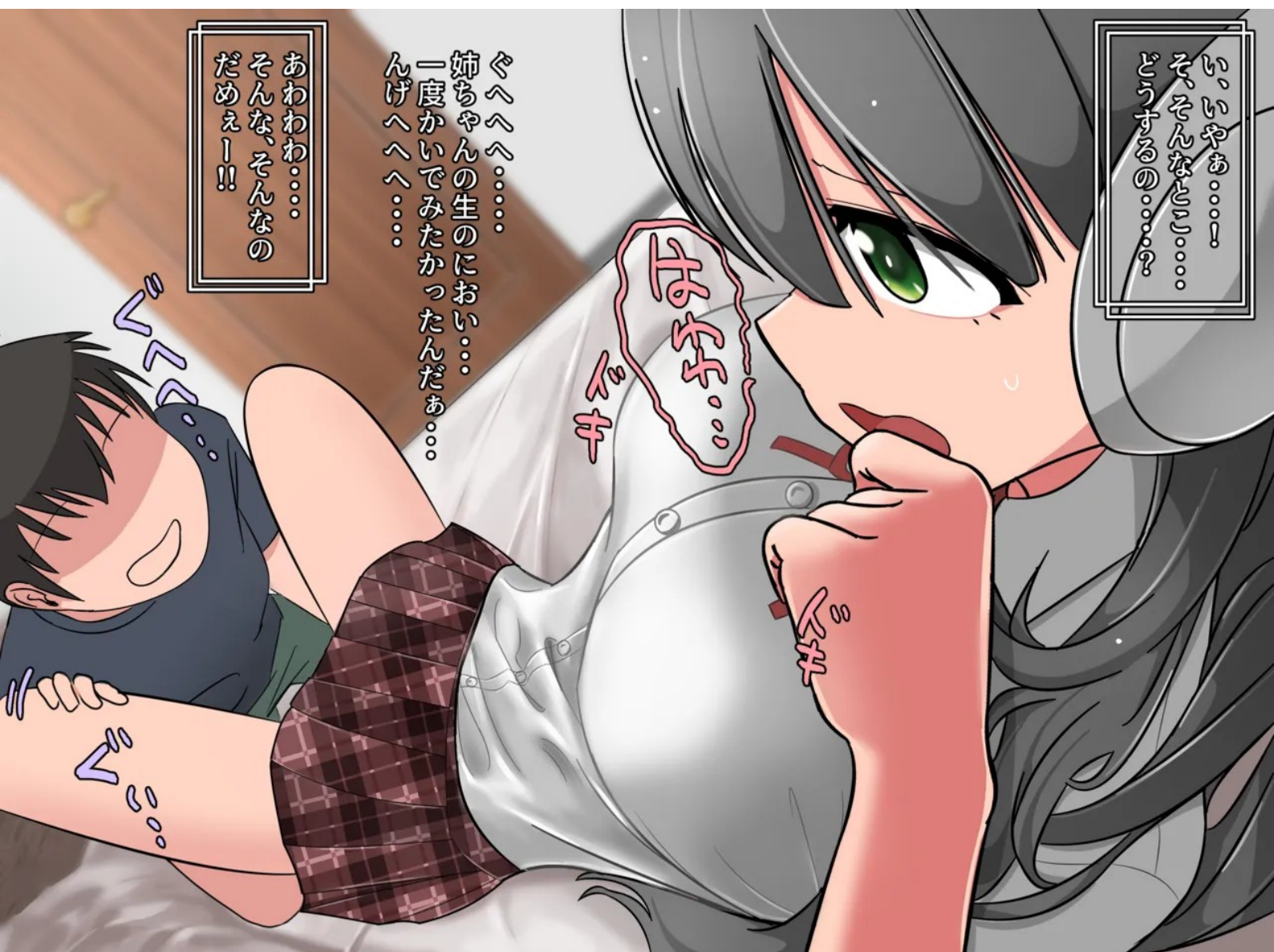
んへへー……  
まだまだあ……  
これからこれからあ……



い、いやあ……！  
そ、そんなと……  
どうするの……？

ぐへへ……  
姉ちゃんの生のおい……  
一度かいでみたかったんだあ……  
んげへへ……

あわわわ……  
そんな、そんなの  
だめえー！！



あぁっ!!  
ほんとうに!!  
いやぁ!!

く...

ん...

く...

すーはー  
すーはー  
ああ...すごいや  
姉ちゃんのにおい!  
すーはー  
すーはー  
ち○こ硬くなっちゃうよ...

ううう...  
いやぁ...

スー  
スー